



次回の勉強会は

4月9日(水)9:30~11:30

(オーテピア 4階集会室 申込み・参加費は不要)

3月 ストーリーテリング勉強会 の記録

2025年3月12日(水) 9:30~11:30
主催:オーテピア高知図書館 参加者:9人
場所:オーテピア 4階集会室

今回も、参加者同士の感想の場で、活発な意見交換が行われました。おはなしを聞き手に届ける気持ちで語ることの大切さ、台詞の言い回しの表現方法など、おはなしについて考えを深める良い機会となりました。

今月のおはなし

1 くわずにようぼう

8分

『くわずにようぼう』

(稲田 和子/再話, 赤羽 末吉/画 福音館書店)より

【語り手から】

今日アドバイスしてもらったところに気を付けながら、自然に語れるように練習したいです。

2 悪魔をだましたジプシー

11分

『太陽の木の枝』

(フィツォフスキ/再話, 内田 莉莎子/訳, 堀内 誠一/画 福音館書店)より

【語り手から】

自分では面白い展開のある話だと思っていますが、おはなしの始まりはゆっくり丁寧に語るようにと心がけています。

3 四人の子ども

7分

『子どもに聞かせる世界の民話 複合媒体資料 第4集』

(矢崎 源九郎/編 実業之日本社)より

【語り手から】

少し力んでしまった気がしました。自分では気が付かないおはなしの捉え方の感想をいただいて楽しかったです。

4 三人ばか

12分

『おはなしのろうそく 4』

(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

大事な場面で詰まったのが残念でした。まだまだ煮詰めて育てたいです。

5 カメの笛

6分

『ブラジルのむかしばなし 1』

(カメの笛の会/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

学童保育で3・4年生に語る予定です。語りは聞いてもらわないと育たないと言われているので、これからも勉強したいです。

6 ボタンインコ

12分

『天国を出ていく』

(ファージョン/作, 石井 桃子/訳 岩波書店)より

【語り手から】

個人的には大好きな話ですが、やはり創作はうかつにできない話だと毎回思います。

☆おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。



オーテピア高知図書館

2025年3月27日